



# 鹿島小だより

中能登町立鹿島小学校  
令和6年6月21日(金)  
No. 7

学校ホームページ 中能登町立鹿島小学校

学校メールアドレス kashima\_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

TEL 76-1100

FAX 76-1088

文責：清水ひとみ

めざす児童像：自ら学びよく考える子(全力)

心豊かで思いやりのある子(協力)

ねばり強くたくましい子(持続力)

自ら考え正しい価値に向かう子(自浄力)

## 3年 PTCA 6月6日(木) 親子で体ほぐし & 器械運動発表会

まず、親子でふれ合いながら、心と体をほぐす運動をしました。笑顔がいっぱい広がりました。

そして、いよいよ子ども達は、器械運動(マット・跳び箱)の発表をしました。大勢の保護者の方に見守られ、緊張しながらも日々の練習の成果を発揮し、最後までやり遂げることができました。保護者からの感想では、「一生懸命頑張っている姿を見ることができ、うれしかった。」等がありました。また、子ども達の感想では、「うまくできなかった技があったけれど、お家の人に『がんばったね。』と言ってもらえて、次は成功したいと思った。」等がありました。子ども達の成長を感じることができました。



## 4年 PTCA 6月7日(金)

## 親子で キンボール大会



町スポーツ推進委員の方が講師となり、親子でキンボールを楽しみました。1チーム4~6人で、直径約1メートルのボールを打ち合い、点数を競いました。ボールを打つたびに歓声が上がリ、笑顔が広がりました。「大人はやっぱり上手だな」「またしたいな」「今度は親子混合のチームでもやりたいな」等の感想が聞かれました。とても有意義な時間となりました。

## 2年 PTCA 6月14日(金)

## 親子で ドッジビー大会

学年委員の皆さんや町スポーツ推進委員の方のご協力のもと、保護者の皆さんと一緒にドッジビーを楽しみました。お家の方と同じチームになれると聞いて、子ども達はとても嬉しそうでした。積極的に前に出て、一生懸命にフリスビーを投げたり受けたりする姿をたくさん見ることができました。終わった後も「またやりたい!」という声がいっぱいありました。本当にありがとうございました。



## 中能登町では、「保小中連携推進事業」が実施されています

◇ねらい — 保小中の連携を一步進める —

幼児より 15 歳までの育ちを連続してみていく視点の重要性から、保小中の連続推進を図っていく。中能登町の目標「子どもの主体性・社会性の育成をめざして」のもと、保小及び小中の段階的な目指す姿を設け、発達段階の違いを考慮しながら、目標達成を図っていく。

鹿島小学校では、以下の**中能登ルーティン**・**中能登スタンダード**に、全校で意識的・積極的に取り組んでいます。ご家庭においても、ぜひ声掛けをお願いします。

### **中能登ルーティン** [生活面]

「余裕登校（当たり前前のレベルを上げる）： ゆとりを持って行動する！」

「タスキ着用（相手を考えて行動する）： 相手を意識し、自分の命を守る！」

「かかとそろえ（できることを手を抜かずにする）： 見えるものを整え、心を鍛える！」

### **中能登スタンダード** [学習面]

・準備してチャイム前に着席 ・礼儀正しい挨拶 ・「聴く」と「話す」の切替

## きらきらハートの取組

「いいね!」「がんばっているね!」

ある心理学者は、「人と比べるとき、良い面を探せるようになれば、自分の良いところも見えてくる。また、自分にも『だいじょうぶ、がんばっているね』と声をかけることで、『自己肯定感』を高めることができる。」と言っています。そして、「自己肯定感」を高めることは、立ち上がって行動する「自立」や、自分をコントロールする「自律」につながるということです。

本校で続けているこの「きらきらハートの取組」は、「自己肯定感」を育むことにつながると考えています。今後も一人一人のよさを認め・伝える場面を積極的に設けていきたいと思えます。



1年：いつもげんきで いいね。 いつもえがおが すてきだね。

2年：いつも天井きょしゅをがんばっていて いいね。

3年：いつも友だちにやさしくしているのが すてきだよ。

4年：いつもベル学や次の授業の準備をされていて いいね。私もできるようにがんばるね。

5年：いつもたくさんの友達と遊んだり、しゃべったりしていて すてきだね。

6年：おもしろくて いつも笑わせてくれて いいね。続けてほしいです。 (掲示より一部抜粋)

## 雨の日コンサート

～ 6月19日(水) ～

昼休みに2階多目的ホールで、子ども達が主体となって、ミニコンサートが開かれました。5年松本大慎さんと山本琉葵さんが司会となり、3人と6組が出場しました。「アンダー・ザ・シー」などのピアノ演奏、ダンス・ラップなど、盛沢山でした。「挑戦」する鹿島っ子の姿を見ることができました。締めくくりは、「はじめ先生のピアノ伴奏による参加者全員での校歌合唱」でした。お互いのよさを認め合い、楽しい時間を共有し、より深くつながりがもてたようでした。

